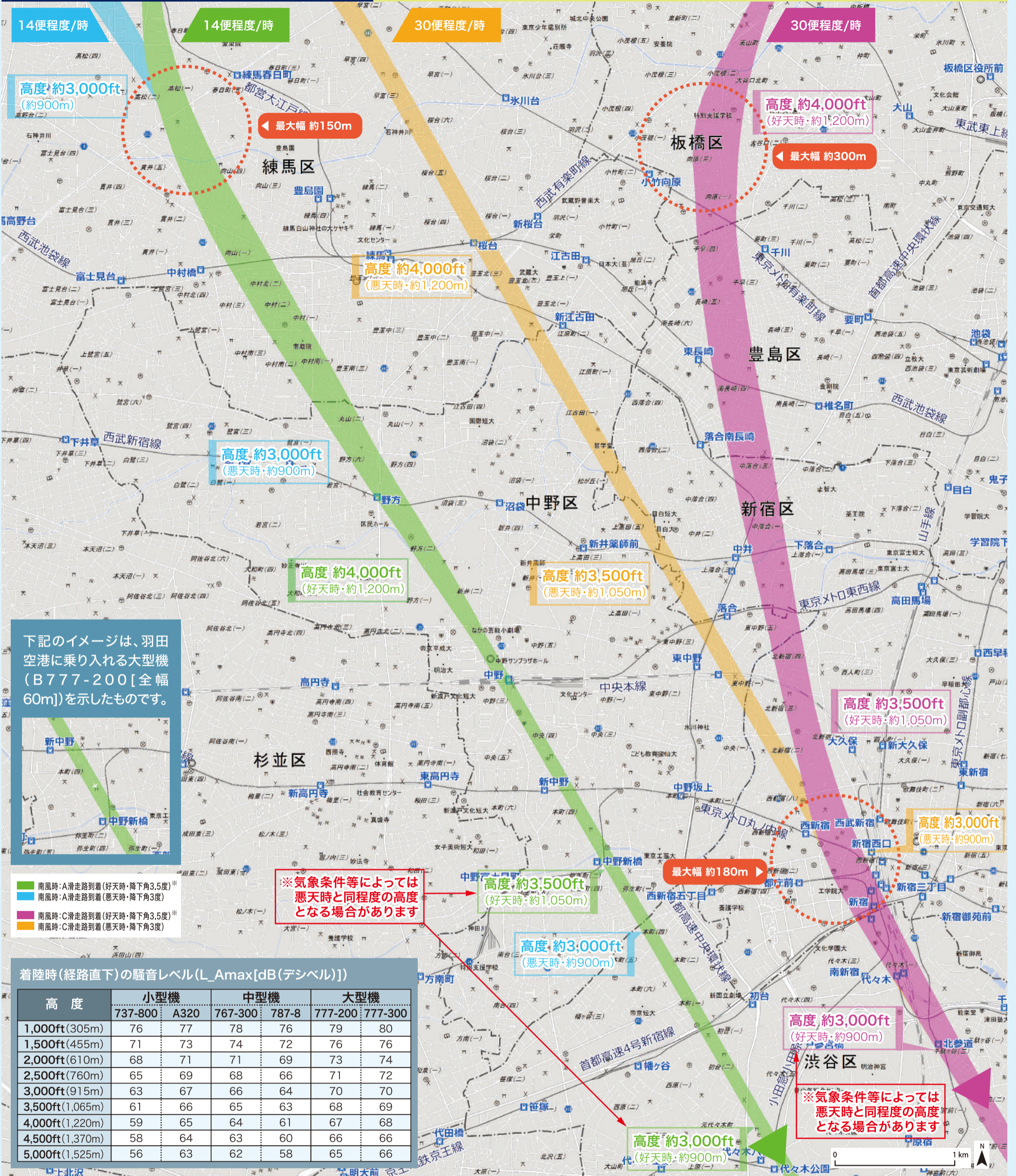


中野区上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定(中野区上空では着陸機のみ)
 運用時間: 15時~19時(切替時間を含むため、実質3時間程度の運用)

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
 ※現行経路(南風運用)では、全ての着陸機が千葉県上空を通過しています
 ※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです
 ※各地点の高度(海拔)は降下角(好天時3.5度・悪天時3度)等に基づき計算上の数値を示したものです

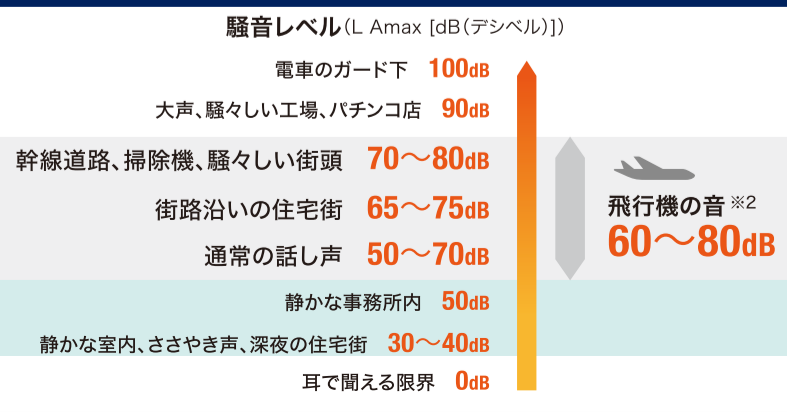


下記のイメージは、羽田空港に乗り入れる大型機(B777-200[全幅60m])を示したものです。



- 南風時:A滑走路到着(好天時・降下角3.5度)
- 南風時:A滑走路到着(悪天時・降下角3度)
- 南風時:C滑走路到着(好天時・降下角3.5度)
- 南風時:C滑走路到着(悪天時・降下角3度)

騒音環境と航空機騒音の程度について



現状(航空機が飛んでいない時)の騒音レベル

- 住宅街(哲学堂公園付近)
 平均値: 約50dB
 瞬間最大値: 約66dB
 - 駅前(中野駅前)
 平均値: 約61dB
 瞬間最大値: 約80dB
 - 幹線道路(環七通り沿い)
 平均値: 約74dB
 瞬間最大値: 約82dB
- ※10分程度の簡易測定による参考値

- 着陸時(経路直下)の騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での騒音値※を推計した値です。
 - ※航空機1機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
 - 実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動があります。
 - 航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。
 - 2つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、2つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76~77dB程度となります。
- ※1 デシベルとは、音の強さを示す単位(音圧)。騒音レベル(L_A[dB])での瞬間最大レベルを示したものです。
- ※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft(約305m)、離陸時で2,000ft(約610m)以上の高度で飛行する場合のピーク騒音。
- (一財)空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成